



芸北教育

広島県立加計高等学校
芸北分校

313号
令和3年
~2月~

スキー部 インターハイで活躍!

冬季インターハイ、スキー競技の部が2月6日(土)から10日(水)の間、長野県飯山市で開催されました。広島県の代表として「芸分魂」を見せました。



- 男子クロカン10kmフリー
西本みずき① 24位 (154名出場)
- 男子クロカン10kmクラシカル
西本みずき① 31位 (120名出場)

- 男子アルペン回転
山脇 平① 38位 (131名出場)
- 沖健太郎③ 50位
- 前田 悠③ 67位 (〇は学年)

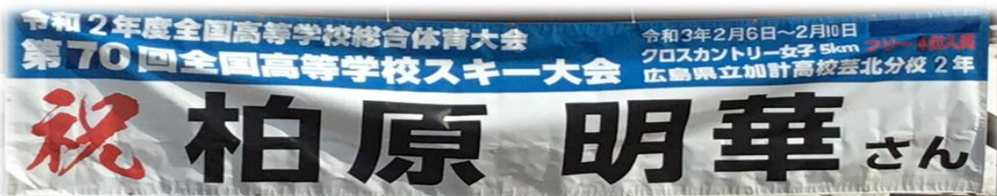
- 男子アルペン大回転
松本翔吾① 96位
- 沖健太郎③ 77位 (120名出場)

- 女子クロカン5kmクラシカル
柏原明華② 31位 (120名出場)

- 女子クロカン5kmフリー
柏原明華② 4位 (121名出場)

2年連続入賞
全国4位入賞
柏原 明華 選手
(かしはら あいか) (2年)

全国から入学できます! 男子寮、下宿、女子寮、下宿完備。町から月一万円の補助制度あり。見学随時可能。
(電話) 〇八二六・三五・〇七二六



感謝の気持ちを持って臨みました！

最後まであきらめず健闘する西本みずき選手（1年）

昨年は温暖化の影響で全国的に雪不足と言われ、今年は降雪量が多いと言われながらも新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、満足できる練習環境、練習量ではなかったことでしょう。そのような状況下で、**2年連続インタールハイ入賞**は、大いに「あっぱれ」です。西日本に位置する高校において圧倒的不利な条件の中、柏原さんは「優勝しか見てなかった」と新聞等における取材でコメントしておりました。満足感よりも悔しさの方が上回っていたようです。その悔しさを**原動力**として更なる**高み**を目指して今後も取り組んでいくことと思います。

- 男子アルペン大回転**
- 山脇 平① 4位 (27名出場)
 - 沖健太郎③ 5位
 - 久保知之② 6位
 - 松本翔吾① 7位
 - 前田 悠③ 11位
- 女子アルペン大回転**
- 上田己瑚③ DNF

**中国高校スキー選手権大会
男女とも『総合優勝』**

1月21日(木) 22日(金)に中国高等学校スキー選手権大会が鳥取県氷ノ山スキー場で開催されました。中国5県26校が参加し、**芸北分校は男女とも総合優勝**の栄誉を勝ちとることができました。スキー部9名全員が一致団結した成果です。



クロカンチーム

男子アルペン回転

山脇 平① 1位(27名出場)

前田 悠③ 3位

松本翔吾① 8位

久保知之② DNF

沖健太郎③ DIS

女子アルペン回転

上田己瑚③ DNS

男子クロカンフリー

西本みずき① 1位(5名出場)

女子クロカンフリー

柏原明華② 1位(4名出場)

男子クロカンクラシカル

西本みずき① 1位(7名出場)

女子クロカンクラシカル

柏原明華② 1位(4名出場)

アルペンチーム



この度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で国体が中止となりました。全国規模の

大会の一つが開催されな
いことは残念でなりません。
選手は一喜一憂し、心
が揺さぶられることがあ
ることでしょう。しかしな
がら、人生の大先輩である
スキー部顧問の松野先生
の指導によって生徒は落
ち着いて次の大会に臨ん
でいるようです。今後は、
選抜大会、ジュニアオリ
ンピック、中国新人大会と連
戦になります。心と身体
を整えて自分の力を思う
存分に発揮してください。

表彰

農業・ソフトテニス部



日本農業技術検定3級
に2名合格することがで
きました。両名とも進路先
は農業技術大学校に決定
しております。芸北分校で
の学びを礎にして、より専
門的な知識・技術の習得に
励んでください。また、ソ
フトテニス部は広島市チ
ーム対抗戦において3位
の成績を収めました。次な
る目標に向けて練習に取
り組んでください。



校の教職員が説明し、芸分生4名が中学生に対して「中



●中高連携

芸中1・2年生高校訪問

1月18日

(月)に芸北中学校の1・2年生25名が芸北分校を訪れま

した。「高校の教育システム」や「高校生としての学



違い」や「芸北分校に入学して」成長したことについて話をしてく

れました。高校の進路選択において十分参考になったことだと思います。

殻破り

全校朝礼

2月9日(火) 全校朝礼

においてラグビー同好会生徒が芸北分校名物の殻破り発表をしてくれました。



が入学してきます。先輩になるに相応しい姿で新入生を迎えましょう。

た。とてもクオリティが高く教職員も感心しておりました。2か月後には新入生

124年ぶりの?

今年の2月3日(水)は広島県公立高等学校の入試、いわゆる「選抜」が行われた。毎年この時期に行われるのであるが、日にちが毎年同じとは限りらない。曜日のならび等も考慮しながらの決定となるのであろう。しかし、この入試方法もあと1年である。再来年度から入試方法も日程も大幅に変更される。

さて、立春は例年2月4日、その前日、2月3日が節分の日とされていた。それがこの度、124年ぶりに立春が2月3日となり、節分の日が2月2日となった。実は1年を正確に表すと365.2422日であり、そのずれを閏(うるう)年で調整しており、それでも合わない部分は日にちをずらして調整しているそうである。この度の春分は正確に言うところ23時59分となり、ほんの1分だけ3日に食い込んだため、春分の前日とされる節分が2月2日になったそうだ。現在各国で採用されているグレゴリオ暦によると①4で割り切れる年は閏年②100で割り切れる年は(原則)平年③400で割り切れる年は必ず閏年、と制定している。幼少のころ4年に1回閏年があり、オリンピックがその年だと覚えた記憶がある。閏年のことをそこまで深く考えたことはなかった。ちよっとした疑問を行動に表して解決していくことが主体的で深い学びにつながっていくのであろう。

太公望球児